

(別紙)

## 評価細目の第三者評価結果

### 1 共通項目

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-1 (1) -① 理念が明文化されている。	A
	I-1-1 (1) -② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
良い点/工夫されている点： 社会福祉法人豊誠会岐南さくら保育園のパンフレット、保育課程の冒頭・保育計画や文書・おたよりに「愛情いっぱいの保育」と明示されている。		
改善できる点/改善方法：		
I-1-1 (2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-1 (2) -① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A
	I-1-1 (2) -② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A
良い点/工夫されている点： 理念、基本方針は保育課程に明示している。また園長が会議時に理念・方針を職員に話し共通理解を図り職員も日常保育に反映している。保護者には入園時や参観日などに話して伝え安心と信頼を得ている。また送迎用玄関に掲示し誰の目にも付くようにしている。		
改善できる点/改善方法：		

##### I-2 事業計画の策定

I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-1 (1) -① 中・長期計画が策定されている。	A
	I-2-1 (1) -② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A
良い点/工夫されている点：、 民営化されてから6年目に入り更に施設の拡充充実を含めた児童福祉ニーズにあった事業計画を立案し、実行・評価・改善のPDCAサイクルの手法を用いて中・長期計画を策定している。計画は人材育成、子育てをしやすい地域の将来を見据えて策定している。平成21年度より計画的に、未満児専門保育園・通園療育ルーム・一時保育・子育て支援ルーム・学童保育・病児病後児保育・3歳以上児保育園を開設して来た。今後、児童発達支援事業所を28年度に開設予定である。		
改善できる点/改善方法：		
I-2-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-1 (2) -① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A
	I-2-1 (2) -② 事業計画が職員に周知されている。	A
	I-2-1 (2) -③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A

<p>良い点／工夫されている点：  前年度の事業計画のP D C Aを全職員で行い作成している。中・長期計画を踏まえ事業担当者が立案し統括官と園長が協議した後、全職員で確認、策定している。前年度から継続の事業は、全職員で年度末に見直し策定している。会議時に常に園長が話題に出し職員も十分に周知、理解している。入園当初に加えて行事で集まった保護者に園長が説明をしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3- (1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
I-3- (1) -①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
I-3- (1) -②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A

<p>良い点／工夫されている点：  統括官は職員会議で理念・基本方針・ビジョンを話し、その中で統括官、園長の役割と責任を表明している。防災関係、福祉全般、労務関係など法令についても職務分担表において明らかにし園長の責任を表明している。防災関係、福祉全般、労務関係など法令についても全職員と年度初めに確認をとっている。通知なども職員会議でその都度知らせたり、必要があれば保護者にも伝えている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

I-3- (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3- (2) -①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	A
I-3- (2) -②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	A

<p>良い点／工夫されている点：  総括官と園長が意志統一し、保育の質の向上のために取り組んでいる。理念の中に『愛情いっぱいの保育』を掲げているように、常に子どもに『愛情いっぱいの保育』をしているか園長自ら保育士に問いかけ、保育士も実行しているか確認しながら「丁寧な保育」に取り組んでいる。保育の自己評価、保育日誌等の書き方から全てに目を通しコメントを入れたり励ましの言葉をかけることで職員一人ひとりの意欲に繋がり質の向上に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1- (1) 経営環境の変化等適切に対応している。		第三者評価結果
Ⅱ-1- (1) -①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A

II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	A
II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	A
<p>良い点/工夫されている点：          社会福祉法人豊誠会の運営委員会で経営上の改善課題を話し合い見直している。民営化されてから毎年園児が増加し、乳児保育、一時預かりの希望も多いなど法人全体で経営状況を捉えている。民間保育連盟の研修や通達その他、町役場に常に出かけ事業関係の情報把握に努めている。経営、運営について職員会議にも課題とし全職員への周知と改善等に取り組んでいる。経営経理には公認会計士等の監査が実施され経営の透明性に努めている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：          公認会計士の監査確認時に第三者的な立場での経営の課題発見と提案を求められたい。</p>	

## II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A
II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A
<p>良い点/工夫されている点：          県の人材育成事業を受け、潜在保育士の掘り起こしと育成を手がけることで園内研修の充実を図っている。職員配置は園児の年齢を考慮し、余裕を持った人員と子どもの心理的な安定を図る勤務時間に配慮している。障害児保育に備え資格の取得や看護資格保有の職員確保に努め、子ども一人ひとりの個性や身体機能に配慮した管理体制に努めている。人事考課については園独自の記述方法で自己評価を行い面接で確認分析している。職員のモチベーションをあげ、仕事にやりがいを持てるよう評価の結果で昇給や特別手当を支給している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A
<p>良い点/工夫されている点：          毎月の勤務表を作成し勤務状況を把握することで、リフレッシュ休暇をとりやすくしている。職員の年休取得率は高く今後は誕生日休暇なども予定している。統括官・園長は、職員と常に話し合い意向の把握に努めている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A

	Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点：          新人から中堅までの年間研修計画を作成している。研修は「社会人としての心構え」を始め公開保育、手作りおもちゃ作り、また姉妹園との交流研修など様々な分野に亘り実践力を高めるように取り組んでいる。外部研修も積極的に参加し研修後は復命と報告書レポートの提出をし、職員会議でも報告をしている。個別の職員の個別の教育や研修の計画と実行に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
	Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
	Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A
<p>良い点/工夫されている点：          実習生については積極的に受け入れている。実習前に実習への姿勢、取り組みについてオリエンテーションを行い、期間に合わせ指導をしている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

### Ⅱ-3 安全管理

	Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
	Ⅱ-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
	Ⅱ-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A
	Ⅱ-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
<p>良い点/工夫されている点          自主防災組織で担当者を明確にし、年間計画を立案しマニュアルをもとに訓練を行っている。緊急時の安全確保は特に年齢を考慮して取り組んでいる。訓練後の職員会で訓練について話し合い確認している。災害時緊急メール配信を整備し、保護者に一斉メール配信で知らせている。ヒヤリハットを全職員で検証し事故の起きやすい場所を再確認し事故防止チェック表を作成し活用している。危険箇所に注意を払い安全確保のリスク検証を行いながら実践している。感染症には蔓延しないよう予防に勤め、その都度保護者にも知らせ協力を求め予防への啓発をしている。毎月保健便りを発行し季節の健康な生活について知らせている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：          低年齢であるが故、更に長時間保育時の安全確保も考慮することを期待する。</p>		

### Ⅱ-4 地域との交流と連携

	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
3	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A

	Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A
	Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A
<p>良い点／工夫されている点：          近隣住民、保護者に笑顔で挨拶や気軽な声掛けで、地域に必要な保育園として受け入れてもらえるよう努めている。遊戯室を子育て支援センターとして利用し子育て中の親子に気軽に利用できる場所として開放している。保護者の子育てなどの悩みにも専門保育士が対応している。保護者の緊急時の支援として未就園児の一時保育病児保育、病後児保育も行っている。園の行事に地域ボランティアの協力を得ている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
4	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	A
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点：          地域の市役所、地域・公民館・姉妹園から協力を得て地域の子育て機関として保育や運営に活かしている。年齢を考慮した地域との交流を行い、併設の療育施設や子育て支援センター・医療機関とも連携をとり発達や子育てについて常に相談を受けられる体制ができている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	A
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点：          子育て支援センターへ訪れた未就園児親子との交流時に保護者から子育ての悩みや相談を受けている。離乳食の進め方や献立などに興味がある保護者が多く、給食試食会や栄養士の話聞く機会を複数回設けている。地域の福祉ニーズは一番身近な保護者から把握することが多く、療育の必要な子どもの教室設置や、病児、病後児保育は小学校３年生までを受け入れている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A

	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 年齢に応じた子ども尊重の基本方針と子どもの最善の利益を考慮した保育課程が策定されて実践されている。プライバシー保護について、マニュアルが整備され、年度の初めに全職員で確認し、周知徹底を図っている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育参観は決まっているがそれ以外の日でも希望すれば、いつでも参観出来るよう開放している。また笑顔で接することで話しやすい雰囲気作りに心がけている。懇談会や行事ごとのアンケートで保護者からの思いを聴き取っている。保護者からの要望などには全職員で話し合い検討し、改善や保育の見直しなどで日々の保育に反映している。アンケート結果は改善策と共に保護者に知らせている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育士と保護者が登降園時に顔を合わせ、常に子どもの様子について連絡を取り合い、コミュニケーションをとっている。全園児が連絡ノートを持ち日々の子どもの様子を丁寧に書き知らせ、保護者からも子どもの相談や意見が述べやすい体制ができています。内容によって保護者全体や個別との対応方法を工夫している。苦情については常に職員の共通の理解と周知を徹底している。苦情解決のポスターや苦情箱が玄関に設置され苦情解決の体制も張り出され、担当者が分かるように記されている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

### Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	A

<p>良い点／工夫されている点：          保育サービスの質についてP D C Aを全職員で行い、課題、目標など掲げ達成の見直しを行い保育に反映している。岐南さくら保育園独自の記述式の自己評価を年2回行っている。今回の第三者評価も自らの保育を振り返るきっかけとするなど、専門性の向上や保育の改善に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A

良い点／工夫されている点  
 保育課程に基づいて保育計画・年月案・週案が立てられ職員会議、週案打ち合わせ等の会議で職員共通の認識のもと、保育がなされている。週案の検討時に保育の評価見直しを行い次に繋いでいる。今回の第三者評価に取り組んでいるうちに日頃の保育を見直し、保育方法について全職員で意見を交わしあい見直し「子どもにとって最善の利益」を求めるように全体が変わってきたと園長も保育士も実感している。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	A
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A
Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A

良い点／工夫されている点：  
 指導計画に沿った保育の記録、保育日誌・児童票や個別の記録など丁寧に記録されている。日誌は園長が点検しコメントを入れて保育の向上を図っている。園児個々の状況をクラス担任はもとより職員会議で課題として出し、子どもの育ちの確認を全職員で共有している。個人情報保護や守秘義務の遵守は、入職の際の誓約書で確認し、職員研修（社会人としての心構え）で周知している。個人情報の管理は、鍵がかかる棚の中に保管している。子どもの記録の保管、保存については、規定に基づいて行っている。

改善できる点／改善方法：

### Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A

	Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 園内の子育て支援センターを訪れた際にパンフレットを配布、町役場窓口にパンフレットを置き情報の提供をしている。一時預かり、病時・病後時保育、育児相談の利用者にもその時々園の情報提供に努めている。入園時にも岐南さくら保育園の理念・方針・保育目標などこれからの保育を文書と口頭で説明し大きく玄関に掲示している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 保育サービス等の変更や他の保育園への変更時には、保育の継続性に配慮している。他の保育園への変更は、引継ぎや申し送りをして子どもの生活が安定して他園へ継続出来るようにしている。他園からの転園にはアセスメントなどの情報を前園から収集し子どもや保護者の不安の解消と保育の継続性に努めている。保護者のニーズに応じ、保育サービス終了後も保護者からの依頼を受けて園長が相談に応じている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

#### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 入園時に家庭の状況調査票で生育暦、家庭状況の確認をしている。それ以外でも就労や家庭状況に変化があれば速やかに変更の手続きを行いアセスメントに反映している。家庭状況の変化などの情報は日々の会話や連絡帳、個別懇談で把握している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	A
	Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 個々の発達過程を踏まえた保育計画を作成している。日々の保育記録をもとにクラス担当保育士で話し合い、保育を振り返り評価、見直しを積重ね指導計画に反映している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		



**評価細目の第三者評価結果**  
(児童分野 保育所)

**評価対象Ⅳ 保育所保育の基本**  
**Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開**

	第三者評価結果
<p>Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。</p> <p>良い点／工夫されている点： 未満児保育に即した理念・保育指針「愛情いっぱいの保育・自己肯定感を育む保育」に基づき、発達過程に重点を置いた保育課程を策定している。保育課程は全職員で作成している。毎年見直した部分は色を変え見直し忘れの無いよう解かりやすくしている。今後も見直しと改善を続けていく予定である。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	A
<p>Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。</p> <p>良い点／工夫されている点： 保育士と看護師を配置、子どもの体調変化に留意している。室内は生活の用具と子どもの発達に即した遊びの用具を配置、床にマットを敷き、ハイハイやヨチヨチ歩きに対応し安全に配慮をしている。室内や遊具の清潔には特に注意し清掃、消毒などで清潔に保つよう配慮している。職員は家庭的な雰囲気を大切にし、あやしたり抱っこする事で子ども一人ひとりを受容し「愛情いっぱいの保育」で穏やかな関わりの保育をしている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	A
<p>Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。</p> <p>良い点／工夫されている点： １，２歳児の保育園で、園生活に無理のない遊びと生活を主にした保育に配慮している。一人ひとりへの穏やかな関わりや、遊びへの橋渡しにより養護と教育の一体的展開に込めている。明るく温かい室内で、遊びと生活の用具を整え園全体が未満児を主とした家庭的な環境に整えられている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	A
<p>Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。</p> <p>良い点／工夫されている点： 該当なし</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。</p> <p>良い点／工夫されている点： 低年齢児の保育園であるため、３歳以上児保育園との連携、交流を主に行い、小学校には散歩に出かけるなど小学生と触れ合う機会を作っている。</p>	A

改善できる点／改善方法：

#### IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2- (1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育士の「愛情いっぱい保育」を実践し適切な接し方により、子ども達との信頼関係が築かれ落ち着いて生活や遊びに取り組んでいる。用具や手作りおもちゃなど子どもが手にとりやすい場所に整理されている。日当たりの良い部屋は、チェックシートの活用で掃除が行き届き清潔な環境にしている。トイレは子どもの年齢にあわせて使いやすく、掃除が行き届き子ども達が気持ちよく使用している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2- (2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日々の遊びや生活の中から基本的な生活習慣が身につけられるような保育に心がけている。年齢月齢に応じ自ら、やろうとする意欲を大切にゆっくり見守りながら言葉掛けや働きかけをしている。子ども個々の情報は職員間で共有し援助、支援にあたっている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2- (3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>様々な素材や玩具が子ども目線の位置に配置され、子どもが自ら手にとって遊びに入れるように環境を整えている。1, 2歳児は保育士の仲立ちや働きかけによって自主的に遊びに取り組んでいる。乳児は保育士が抱っこしたりあやしたりしながら人との関係作りのもとを育てている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2- (4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>近くを通る電車を見たり、神社や小学校へ常に散歩に出かけている。保育士が率先して出会った近隣住民に挨拶したり小学生に声掛けすることで、子ども達に社会と関わる事への働きかけをしている。園庭の花壇、小動物に関わるときも適切な言葉掛けでより自然が身近に感じられるよう工夫をしている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2- (5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	A

<p>良い点／工夫されている点：          日々の生活の中でことばのやり取りを楽しめるよう保育士は援助している。特に0歳児には喃語「アンアン、ウンウン」や発語を見逃さないよう応えている。手遊びやうた遊び、様々な素材を使った表現遊びなども子どもが自分で選んで遊べるよう環境を整えている。子どもは絵本の読み聞かせ、ごっこ遊びなど、さまざまな活動を楽しんでいる。保育士の優しい言葉掛けで、ゆったりと穏やかな園生活をしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

#### IV-3 職員の資質向上

IV-3- (1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点：          園独自の自己評価を年2回行い、自分の保育を振り返り実践に反映している。今回の第三者評価も保育士が主体的に評価について話し合い保育の見直しを繰り返し実践してきた。項目の中から子どもが主体的に遊びを選べる環境の保育が実践出来た。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### 評価対象V 子どもの生活と発達

##### V-1 生活と発達の連続性

V-1- (1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点：          職員の配置時間を固定化し子どもたちが安心できるように配慮している。「愛情いっぱい記録」と証する記録帳を作り、一人ひとりの思いを受け止め、ゆったりと関わり抱っこなど年齢に応じたスキンシップを実践した記録を取っている。振り返ることによって一人ひとりに触れ合い「愛情いっぱいの保育」に心がける保育をしていたか確かめ取り組んでいる。園児一人ひとりの毎日抱っこやスキンシップなど穏やかな見守りと適切な言葉掛けで子ども達は安心して自己の力を発揮して遊んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1- (2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点：          園内に療育ルームを設置し専門職員（臨床心理士・言語聴覚士・保育士）を配置している。ルームの職員と連携をとり障がいのある子どもが安心できる環境の整備をしている。保護者とも連携を密に取り担当職員が相談を受けている。また職員会議で話し合い、全職員が共通理解を持ち障がい児を含めた保育の実践に繋いでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1- (3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点：          長時間、延長保育は異年齢の子どもが安心できる環境となるよう家庭的な雰囲気保育室にして安心して過ごせるよう配慮をしている。ボードを利用して子どもの様子を</p>	

担当保育士に伝え、保護者へと繋いでいる。また職員体制を整え、保護者に安心と信頼を得られるよう配慮している。

改善できる点／改善方法：

## V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	A

良い点／工夫されている点：

入園時に家庭調査票でアセスメントを行い既往歴、予防接種などの情報は把握している。その後の接種や、毎日の健康状態の変化は常に担任や送迎時の保護者との直接の会話で情報を交換している。朝の登園時には降園後からの健康状態の確認を行い、降園時は園での健康状態を保護者に伝えている。子どもの健康に変化があった場合は園長、看護師への報告、連絡、相談を行い保護者に伝えるなど対応している。

改善できる点／改善方法：

V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
------------------------------	---

良い点／工夫されている点：

保育士もテーブルを囲んで一緒に食事を楽しんでいる。調理室の様子がガラス越しに見え調理されている物の漂う匂いで五感を刺激している。玄関には今日の給食の内容や産地を展示し、保護者の安心と関心を引いている。園の畑で育てたトマトやイチゴも給食に取り入れ子ども達の関心を育んでいる。

改善できる点／改善方法：

V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	A
---	---

良い点／工夫されている点：

離乳食は発達に合わせた給食を自園調理で提供している。子どもの身体のために県内産の米と肉、近隣農家から野菜を調達し、食材の地産地消を実践することで安心安全と保護者からも信頼を得ている。園の畑で取れた野菜を献立に入れ食べる事で季節感や匂を感じるようにしている。栄養士や調理員も一緒に食べ、子どもの食べる様子を見て給食や手作りおやつに反映している。

改善できる点／改善方法：

V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
--	---

良い点／工夫されている点：

園医による健康診断・歯科検診結果は連絡帳で保護者に伝えている。保護者は結果により、かかりつけ内科医、歯科医に受診し結果を園に報告、それを児童票に記録し次年度に申し送りしている。受診結果は園長、担任が掌握し全職員も周知のうえ保育中の配慮に活かしている。

改善できる点／改善方法：

### V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 A
<p>良い点/工夫されている点：                      食物アレルギーについて、保護者、担任、栄養士が懇談を行い医師の指示書のもと、除去食の確認を行っている。注意を要する子どもには、担当保育士が調理室に出向きトレーの色を変え名前プレートを付けた除去食を受け取り園長に報告し、子どもに配膳する事で間違いが起きないように配慮している。特に乳製品のアレルギーの子には食後のうがい時間も時差をつけ牛乳自体に触れないよう細心の注意を払っている。アレルギーが改善し除去食の必要がなくなった場合は解除申請書の提出で安全の確認を明確にしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	A
<p>良い点/工夫されている点：                      調理室の衛生管理はマニュアルにしたがって行っている。食中毒発生時の体制も整備し常に予防に努めている。水を含む衛生自主点検、食品の搬入時のチェックも毎日行い調理員は衛生研修を受け職員会で報告、周知を図っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

### 評価対象VI 保護者に対する支援

#### VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
<p>良い点/工夫されている点：                      給食便り、献立表を家庭に配布しブログを通して給食やおやつのレシピの紹介をしている。個々の家庭での食事状況、園での状況を毎日の連絡ノートを通じて伝え合い連携をしている。保護者への給食試食会を行い園児の食事風景の参観をしてもらい、園が食育に取り組んでいる事への理解と食への関心を高めている。試食会後にアンケートをとり保護者からの食に対する相談、要望に応じている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点：                      常に笑顔で対応しコミュニケーションを取るよう努めている。送迎時に保護者に一日の出来事を詳しく伝えたり会話をしながら子育てのアドバイスや、子育ての喜びを共有し支援している                      行事、参観日の後にはアンケートを取り、集計結果を保護者に知らせ、行事に関する要望意見を取り入れ行事へ反映している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 保護者とのコミュニケーションに心がけ、悩みや育児の不安の相談を受けている。何か問題があれば統括官や園長が直接話を聞き対応している。参観日の後、懇談を開き話し合いの場を設けている。育児、発達について連絡帳の活用で常に保護者と共通理解の取り組みをしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 日々のオムツ替えや着替え発育測定時に身体のチェックをし早期発見に繋げている。また、子どもの仕草や言動から、子どもの変化を読み取るようにも努めている。児童虐待の研修を受け、復命を兼ねた報告を園内研修で行い虐待の早期発見、不適切な養育の把握に努めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

#### 評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

##### Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 登園時は職員が玄関に立ち子どもの安全を見守っている。定期的に不審者対応訓練をするなど防犯訓練を実施している。安全マニュアルはあり、避難訓練も行っている。外部からの侵入の対応マニュアルもあり、避難訓練も行っている。職員が共通理解のもと、子どもを安全に避難させるために更に訓練の強化を図ることに努めている。園周囲からの侵入に対しセキュリティに配慮し、更に予防対策の工事を予定している。</p> <p>改善できる点/改善方法： 安全面のセキュリティの強化予定であるが出来上がるまでの対策の継続を期待する。</p>	

##### Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 入園時に行事予定の配布、園便りで行事日程や保育内容を知らせ、保護者が保育参加の予定をたてやすくしている。参加できなかった保護者には自由に参観できるようにもしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 保護者会活動に保育園の施設を提供している。行事について働く保護者の園行事への負担軽減などの意見交換をし、行事日程等を決めるなど連携を取り合っている。</p>	

改善できる点／改善方法：

### Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A
良い点／工夫されている点： 低年齢のため小学校とは大きな連携はないが、散歩に出かけたり花苗や種をもらったり等の交流をしている。姉妹園の岐南さくら南保育園の３歳以上児に訪ねてもらい一緒に遊ぶ体験の場作り、園の畑で収穫した物を貰うなどの交流を大切にしている。職員は研修会や公開保育を共に行うなどの連携をしている。	
改善できる点／改善方法：	